

奴国なこくかわらばん

第九号

令和六年十二月二十四日

熊野神社階段下西側で行った須玖岡本遺跡岡本地区30次調査で、住居跡などを確認しました。

須玖坂本B遺跡11次調査で遺構、遺物を確認。「奴国の丘研究所（奴国ラボ）」第2期研究員。

熊野神社階段下西側を調査

熊野神社一帯は、須玖岡本遺跡に含まれます。今回発掘調査した史跡地は、同遺跡の岡本地区の東部に位置します。岡本地区は、奴国王墓や王族墓が発見されており、弥生時代の有力者の墓地として全国的にも有名な遺跡です。

調査前の当地は住宅地として利用されており、どのような遺跡が、どのくらいの深さにあるのかも分かっていませんでした。しかし、令和3・4年度に行った当地北側の23・25次調査の結果から考えて、弥生時代の墓地ではなく、住居跡や青銅器工房跡が存在するのではないかと推測してまいりました。

そこで、将来的な整備工事に先立ち、遺跡の現状を確認するために30次調査として発掘調査を行いました。



▲須玖岡本遺跡地区分図

須玖岡本遺跡岡本地区30次調査

発掘調査は、令和6年5～8月に行いました。対象地は、高低差があり、東部の上段と西部の下段に分かれています。調査は、弥生時代の遺跡や地形がどのくらい残っているのかを確認するために実施しました。

東部は、南側の道路と同じ高さで、北側の23次調査地よりも約2m高くなっています。このため数十cm掘ると南から北側に傾斜する地面に遺跡が確認されると考えていました。

しかし、遺跡は地表下170cmでようやく確認することができました。遺跡が確認できた面は、南から北側にかけて緩やかに下がっており、北側には包含層（土器などが堆積した層）が残り、そこにも遺跡が掘られていました。

深い場所に遺跡があったため、安全面を考えると十分な広さをとれなかったことや、保存を前提とした部分的な調査のため、遺跡の詳細は分かっていますが、多くの遺跡を確認することができました。

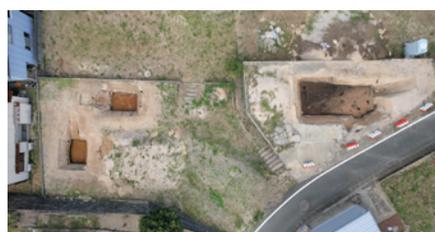
弥生時代の遺跡が中心で、平面形や円形、方形の竪穴住居跡を2軒、掘立柱建物の柱穴と考えられる穴などを検出できました。



▲調査区東部



▲壺出土状態



▲調査区全景

今回の調査で当地が、弥生時代には集落として利用されていたことが分かりました。南側の熊野神社は墓地であり、弥生時代どのように土地利用されたのが徐々にわかってきました。

須玖坂本B遺跡11調査 ついに重要遺構発見か？

春日北小学校にある須玖坂本B遺跡は、奴国王の王宮などの重要遺跡の発見が期待される遺跡です。令和4年度からは夏休み期間中に確認調査を行っています。昨年度まではグラウンド南部を対象に調査しましたが、今年度は北部で調査を行いました。

11次調査は、5 x 8 m程度の調査区を設定しました。深さ40 x 100 cm掘削すると弥生時代の遺跡が見つかりました。柱穴や大溝が落ち込みと考えられる遺構が確認され、大きな破片を含む弥生土器などが大量に出土しました。そのなかには青銅器生産に関する銅矛中型や送風管もありました。特に送風管は、春日市でも十数個しか出ていない貴重なものです。

現地指導に訪れた専門家たちは、「今回の調査は重要施設発見の糸口になる。継続調査をお願いしたい」と述べました。



▲調査区全景



▲土器出土状況

第2期 奴国の丘研究所（奴国ラボ）

令和6年度も「奴国ラボ」の研究員を、春日北中学校生徒を対象に募集しました。昨年度に引き続き大槻直人主任研究員、安藤妃芽香研究員、大江竜弘研究員。そして、新たに矢口莉奈研究員を迎え5月26日に入所式を行い、12月9日から研究成果を展示（ミニ展示会）します。その間、須玖遺跡群について学んだり、須玖坂本B遺跡11次調査へ参加したり、市外博物館を見学したり、それぞれが興味をもった遺物を研究したりしました。

坂本B遺跡11次調査では、昨年度の調査と異なり、土器などの遺物が大量に出土したため、研究員たちは大興奮でした。大江研究員は、この時の発掘調査で出土した弥生土器に感動し、土器について調べ、甕を展示しています。



▶土器を発掘調査



▶展示準備

令和6年度奴国ラボ研究報告展

4名の研究員が約半年間学んだ成果をミニ展示会で公開しました。大槻主任研究員は弥生時代の大きな甕棺、安藤研究員は古墳の副葬品である振文鏡、大江研究員はススがついた弥生時代の甕、矢口研究員は不思議な形をした古墳時代の須恵器の子持壺と器台。それぞれが、見たり、触れたりして不思議に思ったもの、感動したものを選びました。

展示会は、職員からサポートを受けながら原稿を仕上げパネルにし、ケースを協力して移動させて設置し、自分たちで遺物やパネルの置き方を工夫しました。展示を終えた研究員たちは、とても良い顔をしていました。



▲4人の研究員と成果

【問い合わせ先】春日市奴国の丘歴史資料館

Tel 092(501)1144

Fax 092(573)1077